

東京女子医科大学

昭和46年3月6日第3種郵便物認可 毎月1回25日発行

19325

東京女子医科大学雑誌

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL COLLEGE

第41巻

昭和46年2月25日発行

第1・2号

東京女医子科大学学会 第36回総会号

目次

〔特別講演〕
 麻酔とはどんな状態か——脳電気活動からみた麻酔状態の解析——……………藤田昌雄… 1～11
 〔シンポジウム〕
 “交通災害” ……………序言 織畑 秀夫… 12～13
 交通災害の疫学 ……………石井 妙子… 14～21
 自動車運転に伴う身体的変化について ……………菊地 鏡二… 22～32
 交通災害死における死因について ……………平瀬 文子… 33～44
 頸髄損傷と鞭打ち損傷 ……………大井 淑雄… 45～53
 頭部外傷急性期の臨床 ……………喜多村孝一… 54～60
 シンポジウムの追加・討論 ……………61～63
 〔原著〕
 内科および産婦人科患者材料からのマイコプラズマ分離と同定 ……………矢島 章子… 64～74
 外科における胃内視鏡検査 (FGS-BL) の使用経験から ……………
 ……………齊藤 正光・馬淵 原吾・木村 恒人・他5名… 75～80
 糖尿病性網膜症の臨床的ならびに病態生理学的研究 ……………高取 悦子・沼尾智代子… 81～90
Phaseolus coccineus より抽出したいわゆる Phytohemagglutinin
 ——その培養ヒトリンパ球およびマウス造血臓器に対する作用——……………滝川 道子… 91～110
 不純 N-Butyl-N-Butanol (4)-Nitrosamine 経口投与によるラットの
 実験的膀胱腫瘍(付 膀胱腫瘍のフィブリノーゲン周辺についての予報) ……河野 南雄…111～122
 〔臨床報告〕
 心内膜床欠損症手術後にみた溶血性貧血の1症例について……………
 ……………雨宮 禎子・木村 寿子・滝川 道子・上田 俊男・三神 美和…123～128
 アセトン血性嘔吐症の症状を繰り返した自律神経発作の2例……………
 ……………杉浦 節子・宮崎 幸枝・藪田 敬次郎・福山 幸夫…129～135
 術後約1年後に癌性イレウスを起こした広範な IIc に
 IIa の接する早期胃癌の1例……………齊藤 正光・平林 武・他5名…136～140
 口蓋 Cylindroma の1例……………岩本彦之丞・荒牧 元・安住真理子…141～144
 〔学会〕
 東京女子医科大学学会第36回総会 一般演説の追加・質問・応答要旨……………145～146
 〔雑報〕……………147～148

本誌略名
東女医大誌
J Tokyo Wom
Med Coll

東京女子医科大学学会
SOCIETY OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL COLLEGE
東京都新宿区河田町10 東京女子医科大学図書館内

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL COLLEGE

(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Vol. 41

January, February, 1971

No. 1-2

CONTENTS

Special Lecture

Neurophysiological analysis of anesthetic state.....Masao FUJITA.....1~ 11

Symposium

“Automobile Accident”

Epidemiology of motor vehicle accidents.....Taeko ISHII... 14~ 21

Causes of death by traffic accidents.....Fumiko HIRASE... 33~ 44

Comprehensive study on 50 cases of quadriplegic patients addendum: so-called
whip lash injury.....Yoshio OOI... 45~ 53

Clinical considerations on the acute craniocerebral injuries in traffic
accidents.....Koichi KITAMURA... 54~ 60

Originals

Isolation and identification of mycoplasma from oral and vaginal materials...Shoko YAJIMA... 64~ 74

Surgical consideration of the gastroscopic examination (based on the results
of by F G S-BL).....Masamitsu SAITŌ, Gengo MABUCHI, Tsuneo KIMURA, et al... 75~ 80

Clinical and pathophysiological studies on diabetic retinopathy.....Etsuko TAKATORI,
Chiyoko NUMAO... 81~ 90

Extraction and purification of phytohemagglutinin from various beans grown in
Japan; and consideration upon the effect on mitomycin C-injected mice.....
Michiko TAKIKAWA... 91~110

Experimental bladder tumors in rats induced by oral administration of impure
N-butyl-N-butanol (4)-nitrosamine (appendix; preliminary report on
blood clotting and fibrinolytic activity in the bladder tumors).....Namio KŌNO...111~122

Case Reports

Cardiac hemolytic anemia due to the insertion of teflon patch for the repair of
endocardial cushion defect, a case report.....Teiko AMEMIYA, Toshiko KIMURA,
Michiko TAKIKAWA, Toshio UEDA, Miwa MIKAMI...123~128

Two cases of autonomic epilepsy with recurrent attacks simulating.....Setsuko SUGIURA,
Yukie MIYAZAKI, Keijirō YABUTA, Yukio FUKUYAMA...129~135

A case of extensive IIc type early gastric cancer adjacent to IIa type protrusions,
caused a intestinal obstruction by the metastasis after about one year
of curative gastrectomyMasamitsu SAITŌ, Takeshi HIRABAYASHI, et al...136~140

A case of palatine cylindroma...Mariko AZUMI, Hajime ARAMAKI, Hikonojō IWAMOTO...141~144

Proseeding

The 36th general meeting of the society of Tokyo Women's Medical College
Supplement of the general including question and answer.....145~146

Society of Tokyo Women's Medical College

Tokyo Women's Medical College Library

10 Kawadacho, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan

東京女子医科大学学会 第36回総会

(昭和45・9・27)

特別講演

麻酔とはどんな状態か——脳電気活動からみた麻酔状態の解析

藤田 昌雄 教授



シンポジウム「交通災害」



〔雑 報〕

○東京女子医科大学学会 第36回総会

日時 昭和45年9月27日(日) 8.30~17.00時

場所 東京女子医科大学本部講堂

一般演説 30題

〔特別講演〕麻酔とはどんな状態か—脳電気活動からみた麻酔状態の解析

東京女子医大教授 藤田 昌雄(麻酔科)

〔シンポジウム〕 “交通災害”

司会 織畑 秀夫教授(外科)

1. 交通災害の疫学 石井 妙子教授(衛生)
2. 自動車運転に伴う身体的変化について 菊地 録二教授(生理)
3. 交通災害における死因について 平瀬 文子講師(法医)
4. 頸髄損傷について 大井 淑雄講師(整形外科)
5. 交通災害における頭部外傷 喜多村幸一教授(脳外科)

庶務会計報告

佐藤イクトヨ幹事

1) 会員

会員数 929名(昭和45. 9. 14現在)

正会員 学内 504名, 学外 419名

名誉会員 6名

新入会員 112名, 退会49名

2) 学会

本会は昭和5年東京女医学会として創設され、戦時中に日本女子医学研究会と改めて存続し得、戦後大学昇格と共に東京女子医科大学学会と改称して学会を継続したので、本年は創設41周年に当る。学会の主なる仕事は、総会、例会7回、雑誌発行である。

① 総会 昭和44年9月28日に第35回総会挙行、一般課題24題、特別講演は渡辺宏助教授、シンポジウムは「リハビリテーション」で森崎直木教授司会の下に5氏により分担された。講演終了後新校舎前で記念撮影。

懇親パーティーを午後5時より新校舎会議室で挙行し第35回記念総会を祝った。

本日の第36回総会は、快晴に恵まれ、早朝8時半より開始。一般演説は30題で例年より多く、5題を午後5時に廻した。特別講演、シンポジウムは前記のごとくである。交通災害の激増は現在社会の憂慮すべき一大関心事で、このシンポジウムは大いに期待される。

② 例会 44年度は例年通り年6回開いたが、総会以後秋季に空白があるので、評議員会の決議により本年度から10月を加えて年7回に改めた。例年のごとく5月22日(吉岡弥生先生のご命日)の例会では、第9回吉岡研究奨励金授与式を行なった。本年度受賞者は、横田和

子(小児科)、小暮美津子(眼科)の2氏。続いて昨44年度受賞者小野 恵(衛生)、高取悦子・沼尾智代子(小坂内科)諸氏で2題の研究成果が発表された。

3) 東京女子医科大学雑誌

月刊の総合医学雑誌で、毎月25日発行、東京女子医科大学の機関雑誌である。昭和44年度第39巻の最終頁は975頁(前年度より50頁増)巻末に総目次(和・英)、人名索引をつけた。発行部数は44年度1,050部、45年度1,150部。会員に配布するほか、交換雑誌174種、寄贈20。原稿の集まり方はほぼ順調で、定時発行しているが、夏以来少ないので、秋の学会の報告をどしどし寄稿されたい。

4) 会議

○幹事会 毎月1回、幹事10名で雑誌の編集、学会運営の協議など行なう。

○評議員会(年2回以上開催) 本会の重要事項を協議

昭和44年度 会計報告

収 入 の 部		
会 費		1,402,013円
掲 載 料		963,120
別 刷 代		257,225
広 告 料		81,000
寄 付 金		30,000
総会懇親会々費収入		20,700
雑 収 入		18,300
		2,772,358
(不 足 分)		572,302
		3,344,660円
支 出 の 部		
印 刷 代		2,916,955円
通 信 費		127,536
謝 礼		38,000
幹事会編集費		119,070
総 会 費		26,100
総会懇親会費		49,900
集 金 手 数 料		12,050
修 繕 費		2,000
校 債 償		30,000
消 耗 文 具 費		12,501
雑 費		10,548
		3,344,660
		3,344,660円

する。44年度は6月4日、9月17日(臨時)、11月19日の3回挙行。

6月の主要議題は第35回総会の件。

9月の臨時評議員会で学会会費改正(従来の年額2,000円を2,500円に)、雑誌一部定価改正(400円を450円に)、これを第35回総会の承認を得て、45年1月より実施。掲載料改正は39巻8号より実施している。

11月の会で第36回総会の大体を決めた。例会を従来の年6回を7回とする事を決定。

例会の綜説担当者を昭和46年度、47年度分まで決定。総会の特別講演者を昭和48～50年度まで決定。

46年6月3日の評議員会で第36回総会の件詳細を協議し、シンポジウム分担者を発表された。

5) 会計報告

昭和44年度会費は2,000円、納入率81.5%、詳細は表示のごとく、572,302円の赤字となつたが、大学当局のご援助によつて決済し得たことを感謝して報告する。45年度中間集計(1月～8月)では、会費が本年度より2,500円に改正され、納入率も65%強で、現在のところ収支つぐなつているが、物価上昇の折柄、会費完納を切にお願いする次第である。

○幹事会

日時 昭和45年11月6日(金)午後3時より

場所 東京女子医科大学中央校舎学会室

議題 1. 評議員会の件

2. 48年度例会における綜説担当者的予選

○評議員会

日時 昭和45年11月24日(火)午後3時より

場所 東京女子医科大学中央校舎1階会議室

議題

1. 第37回総会の件

1) 期日 昭和46年9月26日(日) 8:30～17:00

2) 演題募集数 約30題

3) 演題締切日 46年7月1日(木)

抄録 800字程度を添え、演者に○印をつける。

4) 演説時間 1題7分、討論2分

5) 特別講演担当者

題一母子保健25年の反省 石井 妙子教授(衛生)
6) シンポジウムの題と司会者決定

題一「臓器移植」

司会者 榊原 伸教授(心研)

追つて司会者から分担講演者をきめられる。

2. 例会の綜説担当者(48年度分)を次のごとく決定。

1月 今野 草二教授(心研外科)

2月 水野 美淳助教授(小坂内科)

4月 堀 原一教授(心研理論外科)

5月 南 孝雄助教授(麻酔科)

6月 近藤 瑞香講師(心研内科)

10月 末田田鶴子講師(精神科)

12月 藪田敬次郎助教授(小児科)

3. 会計報告(昭和45年度中間報告1～10月)

○幹事会

日時 昭和45年12月7日(火)午後3時より

場所 東京女子医科大学中央校舎学会室

議題 東京女子医科大学雑誌第41巻1・2合併号編集。本号は第36回総会記念号とし、15篇を収録した。(佐藤記)

編集後記

昭和45年も後1週間で終ろうという年の瀬に、毎年のことながら交通災害死亡数が1万6千2百余と、昨年を上回ることが報道されていた。

本誌のシンポジウム「交通災害」も自動車による災害を主体として治療と予防について講演されたが、いかに難しい問題であるかということが痛感された。

一口に交通戦争といわれている通り、今まで健康そのものであつた若い青年が一瞬にして生命を失う事実は正に戦場における姿である。これこそ日本が戦後に得た平和の中から生れた工業化と科学技術の進歩、そして経済の上昇が産み出した公害の最たるものと思う。公害法案が国会でもまれているのをテレビで見たとき、ふと自動車災害が公害とみなされていないことに気付いたのである。来年こそは交通災害を激減させたいものである。

(昭和45.12.23. 織畑記)

〔正 誤〕

第40巻12号

〔原著〕 老人の保健に関する考察 小野 恵 820頁 表13 のうち 全国、1、24、の各空欄は下記の通り。

表13

	65才以上 人 口	診査通知 対象人員
全 国	6,340,361	4,061,821
1 北海道	249,318	149,590
24 三重	132,216	60,720

編 集 委 員

平	山	章	太	田	八	重	子
笠	井	和	佐	藤	イ	ク	ヨ
松	村	義	高	橋	文	子	
諸	岡	妙	竹	内	富	美	子
織	畑	秀	梅	津	隆	子	

A B C 順

昭和46年2月20日 印 刷
昭和46年2月25日 発 行

東京都新宿区河田町10番地
東京女子医科大学図書館内

発行所 東京女子医科大学々会

電話 東京(353) 8 1 1 1 番(代表)
内線 498 番

東京都新宿区戸塚町4丁目戸山アパート30-694

編集兼 佐藤イクヨ
発行者

電話 東京(361) 6 6 5 4 番

東京都北区西ヶ原3丁目46番10号

印刷者 向 光 枝

印刷所 株式会社 杏 林 舎

電話 東京(910) 4311 (代表)

東京女子医科大学雑誌規定

○会費払込は振替口座「東京4342」東京女子医大図書館内
東京女子医科大学々会宛のこと

○会費は毎年1月中に払込まれること

会 費	会 費	売 価
(前金)	1カ年 金2,500円	1部 金450円

東京都文京区本郷2の26-10大磯ビル
広 告 株式会社 大 矢 商 会
取 扱 者 電話小石川(813)7031-4番